

令和5年度 さいたま市立さくら草特別支援学校

第3回学校運営協議会

1 日 時 令和6年2月15日(木) 10時00分～11時30分

2 場 所 さくら草特別支援学校会議室

3 出席者 11名(欠席4名)

4 議事録

(1) 開会のことば

(2) 校長あいさつ

(3) 教育活動の近況報告

(4) 本年度の振り返り

- ・学校評価について
- ・学校自己評価システムシートについて

(5) 次年度の学校運営に関する基本的な方針について

(6) 委員の方々より

- ・避難所運営訓練では、参加者数が少なかった。いざというときにどう対応するか、学校の設備を熟知しておいたほうがいい。
- ・今年度の学校評価も高い。課題に対して着実に取り組まれていることがうかがえる。
- ・医療的な部分でマンパワー不足の面がある。地域でもヘルパーの全体量が少ないうえに、地域で医ケア児は増えている。こうした実情を市に伝えていきたい。
- ・自己評価システムシートの達成度は「A」でもいいのではないか。評価指標を肯定的評価ではなく「A」評価で設定するのはどうか。
- ・交流で行ったボッチャはとても楽しかった。学校ファームの収穫をさくら草で販売する取組は、今後も共同で活用していきたい。
- ・来年度、学校でユニバーサルデザインの研究を進めていくにあたり、さくら草特別支援学校のセンター的機能を活用していきたい。
- ・能登半島の地震があつてから、PTAでバッテリーを購入した。水の確保も重要である。
- ・学校行事の見学機会をいただけたのはよかった。病院にいるときだけでなく、日常の子どもたちの生活を知ることができた。学校生活で必要な情報を把握しながら連携していきたい。
- ・子どもの実態の変化によって対応も変わってくる。教職員が専門的なスキルを身に付けられるような研修を行っていく必要がある。

(7) 諸連絡

(8) 閉会のことば